

四国今治から世界へ

NHKラジオ
明日への言葉
2012年9月3日、4日

池内 計司

タオル会社社長 池内計司

1949年:愛媛県今治市生まれ
1971年:一橋大学卒業後、松下電器産業に入社
1983年:父が創業していた池内タオルに入社
1999年:タオル業界初のISO-14001認定
2000年:ISO-9001およびエコテックスの認定を受け、四国タオル工業組合副理事長。
2002年:New York Home Textiles Show 2002で Best New Products Awardを受賞
この年の初め日本で唯一の100%風力発電で稼働する企業に
2003年:取引先の破綻により民事再生法の申請
2004年:全国200以上の小売で「風で織るタオル」を販売、全国展開。
現在では欧米のハイエンド市場(オーガニックコットン)でも高い評価を得ている。



池内タオル(株)
社長 池内計司
創業 1953年(昭和28年)2月
売上高 4億円

池内タオルでは世界的な認証機関が認定した、農薬や枯葉剤を使用しない有機栽培の綿を原料にしています。さらに染色工程、漂白においては、塩素などの環境負荷が高い化学物質の使用を避け、鉛や銅、水銀といった重金属を含まない染料を使用して染めています。

「これまで培ってきたノウハウを基本に、最終的には、トータル・オーガニック・テキスタイル・カンパニーになることを目指して今、計画を進めています。すでに、カーテンやソファの張地などは手掛けていて好評いただいているんですが、今後はベッドシーツなどの寝具まわり、キッチンまわりなど、IKTのコンセプトは変えずに、少しずつ広げていきたい」

現在、デパートに「今治タオルコーナー」があり、嬉しい！
今治にタオル会社は100社近辺ある、かつては500社あった。

二代目になって29年。自分は1949年に今治で生まれた。兄とは2歳違いの次男。劣等感の強い少年で、小学校では字が書けない生徒だった。親はアツケラカン..としていたが。母親が学校に来て、うちの子は出来ないのではなく自信がなただけなので、よろしく..と言っていたらしい。

中学・高校は親元を離れて松山での寮・下宿住まい。週末は今治の家に帰っていた。学校は文化的に自由な雰囲気であった。受験勉強で苦しい学校生活ではなかった。日本で一番授業料の高い学校で親は大変だったと思う。

高校の頃は将来、医者になろう..なんて考えていたが、結局一橋大学の商学部に入った。オーディオが好きでよい音楽のきける新宿のジャズ喫茶にはよく行っていた。中学3年生頃からビートルズファンになり、いい音楽を聞いていた。そんな関係で昭和46年に大手電機メーカーのステレオ事業部に就職、営業企画で10年ほど頑張った。仕事は順風万帆だった。昭和50年、26歳の時に今治出身の女性と結婚。

ある時、会社が自分のことをわかってくれないと思い辞表をだした。1982年12月20日に退社。結果、父の仕事をつぐことになった。父の会社の30周年目の1983年2月21日から出社することにした。ところが1月27日に父が病に倒れ、2月4日には脳梗塞で世界してしまった。劇的な引継ぎになってしまった。1953年ごろは500社ほどの会社があり、輸出専門のタオル会社が多く、生産過剰な状態だった。差別化が大切だった。1987年8月に業界に先駆けキヤドを導入。コンピューターをいち早く使いこなした。1990年代は池内ハンカチ・タオルでハンカチ業界にシフト。海外ですぐ真似られるものは作らない方針。

最大限の安全性と最小限の環境負荷を最優先に1999年春、自社ブランドIKT(アイケイテイ)を世に出した。以降品質は年々あがっているがモデルチェンジはしていない。データでもって安全性を示す。大変厳しいエコテックス検査で化学成分がどれだけ残っているかを調べたデータを添付。最初に使っていたいたタオルがいつまでも長く、素材がへたらないように作っている。

2002年、ニューヨークのホームテキスタイルショーに出品、最優秀賞をもらった。独自ブランドが順調に伸び、NYの一流店に口座が開設された。2003年、小泉首相が池内タオルのエピソードを紹介してくれ、一躍 皆に知られるようになった。その後、メインの取引先が自己破産し、そのあおりで池内タオルも倒産(負債総額10億円)。民事再生法の世話になる。OEM路線を脱却し、「自社ブランドのみで再生させよう」と決心した。田舎の小さなタオル屋に多くのマスコミが押しかけた。28社の企業、多くのお客様の後押しで生き残った。

かつてはIKTの比率は売上全体の1%、オーガニックが10%だったが今はオーガニックが92%になった。お客様が導いてくれた。お客様とのコミュニケーションは大変密にしている。「風で織るタオル(グリーンタオル)」は最小限の環境負荷で作るため、2002年1月1日から電力は100%風力発電にした。

瀬戸内海の排水基準は厳しい。1988、9年ごろ(自分が30代後半)、先輩の吉井さんから話があり、地元タオルメーカー7社で、常識外の高度排水処理工場を作った。真水が流れるような工場だ。オーガニックコットンで知られるデンマークのノボテック社のノルガード社長(博士)が1996年来日。東京で講演した。その際、参加者の一人が、グリーンコットンを日本でできないか?と質問したことがきっかけで博士が我々の排水工場を見に来てそのレベルの高さに驚かれた。色々教えていただきISO14001(環境基準)、次にISO9001(品質基準)をクリアした。助走期間が長かったが、2002年3月以降、本格的に売れ出してきた。

オーガニックバスタオルの標準的値段は4000~6000円。内容を考えると高くない。毎年、2月始めにコットンヌーボーの会を、ボジョレヌーボーにあわせて11月15日にコットンヌーボーの会を開催。2011年2月にコットンヌーボー2011(製品名)を発売。タンザニアのオーガニックコットン農家を訪問した。1から1、5万円の平均年収の国でオーガニックコットンの農家は年収30万円位になった。嬉しい!オーガニックは年一回しかできず広大な土地を必要とする。日本の物作りは世界一だと思いが、日本人がそれに気がついていない。欧米にはトレードショーがあるので利用するといいい。

今後はトータルテキスタイルの会社になりたい。夢はスタートしたばかり。